

2023年度

科目名称	身体障害の作業療法応用
授業コード	AE317
英語名称	Application of Occupational Therapy Theory:Physical Disabilities
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	長谷川 辰男 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	脳血管障害から引き起こされる、運動麻痺・感覚障害・高次脳機能障害などの症状、及び急性・回復・維持期の各病期における臨床症状を理解する。対象者は、脳梗塞・脳出血・頭部外傷・脳腫瘍患者である。全体像を把握し、運動面、精神面、生活面に関わる具体的な評価から訓練に至るまでの実践的な援助方法を習得する。 さらに、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの神経内科的疾患も学習する。特に進行性の患者に対する対応の留意点を学習し、予後について理解を深める。
科目に関連する実務経験と授業への活用	作業療法士としての臨床経験をもとに講義をする。
到達目標	ディプロマポリシーに掲げる「様々な側面から対象者を全人的・統合的に理解する上不可欠な基礎医学的知識および作業療法を理解し基本的な臨床技能を実践できる。【知識・技能】科学的根拠に基づき、作業療法を実践するための基本的な科学的思考力、問題解決能力を修得している。【科学的思考力】」ために、以下を目標とする。 1) さまざまな疾患の病態と臨床経過を説明できる。 2) 脳血管障害に対する作業療法アプローチの目的を説明できる。 3) 頭部外傷、脳腫瘍に対する作業療法アプローチの目的について説明できる。 4) 脳血管障害に対する作業療法の実際を説明できる。 5) 神経・筋難病に対する作業療法の目的を説明できる。 6) 神経・筋難病に対する作業療法の実際を説明できる。
計画・内容	1) イントロダクション 2) 脳血管障害の病態とその臨床経過 片麻痺とその予後 3) 脳血管障害の病態とその臨床経過 合併症状など 4) 外傷や脳腫瘍の病態とその臨床経過 5) 脳血管障害の評価と治療の原則 医学的治療と作業療法の関連について 6) 血管障害の評価と治療の原則 作業療法の一般的な評価について 7) 血管障害の評価と治療の原則 作業療法の治療・指導・援助について 8) 脳血管障害に対する作業療法の実際 各病期に応じた作業療法目標を立てる 9) 脳血管障害に対する作業療法の実際 上肢機能回復に対する作業療法プログラムの計画を立てる 10) 脳血管障害に対する作業療法の実際 知的・認知機能障害に対する作業療法プログラムの計画を立てる 11) 脳血管障害に対する作業療法の実際 ADL指導・援助するための作業療法プログラムの計画を立てる

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>12) 脳血管障害に対する作業療法の実際 地域生活・社会生活を支援するための作業療法プログラムの計画を立てる</p> <p>13) 神経・筋難病の病態とその臨床経過</p> <p>14) 神経・筋難病の評価と実際について</p> <p>15) まとめ</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>教科書、配布資料を使用し講義及び演習を行う。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>学生のへの質問を活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと。(各回1時間) ・ 教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。(合計15時間程度)
<p>教科書・参考書</p>	<p>教科書：山口 昇 玉垣 努 編集：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版 2021医学書院 5500円</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>定期試験(100%)</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>学生からのコメントペーパーの内容をもとに、授業への反映や資料配布等を行う。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>「神経内科学基礎」「神経内科学臨床」で習った疾病や障害を復習しておくこと。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方 Zoomミーティングや課題提出型にて授業を進める。</p> <p>成績評価法 課題の提出や内容にて評価をする。(100%)</p>